

(1) 社内プラットフォーム並びにDX推進計画構築事業

Garoonとkintoneを活用・整備し、仕事の主軸となる社内プラットフォームを構築。

DX理解による意識改革を進めるとともに、現場へのシステムの浸透力を高めることを目指す。

最適なプラグイン（kintone追加機能）活用の検討、RPA活用を視野に移行可能業務を精査、導入の方向性を定めます。これらにより、コミュニケーションの活性化、情報の見える化、業務フローの効率化を推進します。

取組① デジタルプラットホームの組成

Garoon上に現在利用しているシステムアプリを搭載し、デジタルプラットホームを組成。社員全員が安全にインターネット環境で仕事ができる環境を整備

取組② 社内の連携と情報共有促進と社員のDX意識向上

GaroonとKintoneを利用し社内連携と情報共有が進んだ。社員のDXに対する理解度や意識も向上した。

取組③ 社内データ共有精度向上

kintone追加機能であるプラグインを利用し、データをバーチャートにて表示し、社内データの共有精度向上を図った。

取組④ 原価管理システムとKintone連携

RPAを活用し、KIntone情報と社内原価管理システムと連携実施。

(5) 今後の社内の取組予定

DX認定業者として更なるDX推進を行う。

Kintoneを活用した情報の連携と共有により更なる効率化を図る。

(2) プロジェクト面談実績

第1回面談：2024年6月20日(木)：キックオフ、現状把握

第2回面談：2024年7月04日(木)：DX認定申請書作成支援

第3回面談：2024年7月17日(水)：Kintoneアプリ作成支援

第4回面談：2024年8月06日(火)：Kintoneアプリ作成支援

第5回面談：2024年11月15日(金)：DX認定申請書作成支援

第6回面談：2025年1月23日(木)：DX認定申請書作成支援

その他WEBMTを随時開催

(3) 期待される効果（KPI、数値目標等）※当初設定

①DX認定業者となる 「経営ビジョン」「DX戦略」を策定する

②グループウェア活用による業務効率化 令和7年2月（令和6年2月比）

・ワークフロー利用件数 令和6年2月 85件/月→100件/月

・掲示板機能の確認比率 令和6年2月 94%→100%

③一人当たりの印刷枚数、平均時間外勤務時間削減目標設定（下記参照）

(4) 改善効果

①令和7年2月1日経済産業省のDX認定事業者となる。

②ワークフロー利用件数 102件/月 掲示板機能の確認比率 100%共に達成

	令和5年	令和6年目標	令和6年実績	削減率
一人当たりの印刷枚数(枚)	5,212	4,690	4,299	▲21.3%
平均時間外勤務時間(時間)	17時間40分	17時間	15時間32分	▲13.7%

(6) 成果物 (ご参考)

- 「経営ビジョン」「DX戦略」の策定する

DXへの取り組み

2024年11月28日
株式会社トーケン
代表取締役社長 伊野 博俊

当社におけるDX 経営ビジョン

推進体制

DXへの取り組み

数値目標
全体での効率化
フィードバック方法

具体的なDXの取り組み
全社での取り組み
建設現場での取り組み
BIMへの取り組み
デジタル人材の育成



- DX認定業者となる

12		DX-2025-02-0020-01	株式会社トーケン 伊野 博俊	50~99人	建設業
7220001012222		石川県金沢市入江 3丁目25番地	適用日より2年間 (2027年1月31日まで)	2025年2月1日	中小企業